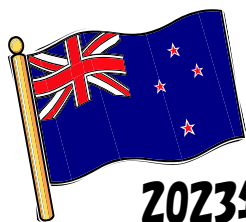


ニュージーランド保育士資格を持つ 谷島直樹先生と行く



ニュージーランド 幼児教育視察研修7日間

2023年11月11日(土)～11月17日(金)



ニュージーランド幼児教育視察研修の案内

ニュージーランドには“テ・ファリキ”と呼ばれる保育指針があります。幼稚園、保育園等の施設では、テ・ファリキを指針とした自由保育が実施されています。

今回の研修では、“テ・ファリキ”についてのレクチャーを受け、幼稚園、プレイセンター、コハンガレオ、小学校、特別支援学校を訪問し、様々な保育・教育の現場を見ていただくことができます。またレクチャーや視察を通して、より日本とニュージーランドの幼児教育の違いを学ぶことができます。

世界的に注目されているニュージーランドの幼児教育について、レクチャーや現場視察から直に学ぶことのできる大変貴重な機会です。

この研修には、札幌にある清明学園幼保連携型こども園おかだまのもりで園長をされている谷島直樹先生が同行していただきます。

通常の観光旅行では見られないニュージーランドの幼児教育の現場をじっくり視察できるこの貴重な機会をぜひ有意義にお過ごしください。

🌱 予定日程 🌱



1	2023年 11月11日(土)	東京(成田)	発	航空機	午後	空路、オークランドへ	[機中泊]
2	12日(日)	オークランド	着	専用車	午前 午後	着後、入国・通関 ムリワイビーチ見学、ワイナリーにてランチ	[ホテル泊]
3	13日(月)	オークランド		専用車	午前 午後	テファリキのレクチャー コハンガレオの視察	[ホテル泊]
4 5	14日(火) 15日(水)	オークランド		専用車	午前 午後	プレイセンターまたは保育園にて研修 小学校、特別支援学校を視察訪問	[ホテル泊]
6	16日(木)	オークランド			終日	自由行動	[ホテル泊]
7	17日(金)	オークランド 東京(成田)	発 着	航空機	午前	空路、帰国の途へ 到着後、解散	

企画・実施:株式会社ATI

※写真はイメージです。

旅行期間	2023年11月11日(土)～11月17日(金) 7日間		
利用予定航空会社	ニュージーランド航空(直行便)		
旅行代金	436,000円 学生426,000円	最少催行人 数	15名
上記旅行代金に含まれないもの			
①成田国際空港施設使用料・海外空港諸税・国際観光旅客税(2023年7月現在:約12,000円) ②一人部屋追加代金 55,000円 ③海外旅行保険料(任意加入) ④渡航手続き手数料 4,400円 ⑤日程に明示した以外の食事 ⑥NZeTA(電子入国許可)費用 52ドル ⑦個人的な費用(電話代、通信費、郵便・切手代、ランドリー代、心付け・チップ、土産代など) ⑧利用航空会社設定の無料受託手荷物のサイズ、重量、個数を超えた場合の超過手荷物料			
■ニュージーランド入国における旅券(パスポート)の有効残存期間について ニュージーランド政府は日本国籍の人に対し、その必要残存期間を「ユージーランド入国時点で旅券の有効期間が3か月以上を要件としています。弊社としては残存期間に余裕のあるパスポートをご準備頂くことをおすすめいたします。(日本国籍以外の方は規定が異なる場合がありますので、お早めにお問い合わせください。)			
※添乗員は成田国際空港出発から同空港帰着まで同行いたします。 ※大阪・福岡・中部国際空港発場合は国内線を別途手配いたしますのでご相談下さい			

🌱 研修旅行のポイント 🌱

谷島 直樹先生 プロフィール

日本で7年保育士として働き、2014年に幼児教育先進国と言われるニュージーランドへ。オークランドの保育園で補助の先生(リリーバー)を1年、年長クラスの担任を3年した後、2019年オークランドで小学校教員になり、小学0～1年生を1年半担任。その後オークランド内の幼稚園に勤務し、2023年4月から認定こども園おかだまのもり園長として信頼モデルの保育を目指して保育者と共に実践中。聖徳大学大学院博士課程前期修了児童学修士。ニュージーランド保育士資格、教員免許保持。



◆書籍

『ニュージーランドの保育園で働いてみた: 子ども主体・多文化共生・保育者のウェルビーイング体験記』が2022年度日本保育学会文献賞受賞(ひとなる書房より販売中)

「テ・ファリキ (Te Whariki)」

1996年にニュージーランドで定められた就学前教育指針です。テ・ファリキとはニュージーランドの先住民民族マオリ族の言葉で「縦横に編む」という意味で、4原則と5つの要素を絡み合わせ、子どもを主体的に育てていこうという考え方です。これを元に各教育機関が独自の教育を実践しています。



◎4つの原則

- ・エンパワメント 子ども自身が力を付ける
- ・ホリスティックディベロップメント 全人的成長
- ・ファミリーアンドコミュニティ 家族と地域の中で育つ
- ・リレーションシップ さまざまな関係をつなげる学習

◎5つの要素

- ・ウェルビーイング(心身の健康)
- ・所属感
- ・貢献
- ・コミュニケーション
- ・探求



プレイセンター・保育園・幼稚園

ニュージーランドの保育指針テ・ファリキを基本とした遊び主導(Play based)がカリキュラムとされています。ニュージーランドで始まったプレイセンターは、親が運営管理とともに遊びを通して子どもを育む教育者としての立場も担っている施設です。



小学校訪問

ニュージーランドでは、小学校から義務教育となり、5歳の誕生日からの入学となります。授業の見学を通し、ニュージーランドの学校生活に触れてください。



※写真はすべてイメージです。